

協定校留学【終了】報告書

※現地の様子や大学の風景、ご友人との写真を添付して頂けると大変参考になります。ご協力ください。
 ※帰国後1か月以内に提出(送信)してください。
 ※津田塾大学海外留学(派遣・受入)奨学金受給者はこの報告書をもって奨学金受給者報告書とします。

留学先大学	カリフォルニア大学デービス校	氏名	
国名	アメリカ	学籍番号	
留学期間	2021年 9月 ~ 2022年 6月	記入年月日	2022年 7月 16日

1 履修したすべての科目についてお書きください			
主な専攻分野: 国際農業開発			
科目名	Presentation Com Collab	科目名	Supply Chain Planning and Management
授業内容	舞台上で使われるテクニックを用いて、発声方法、コミュニケーションスキルを磨きながら、プレゼンテーションやグループワークに取り組みます。	授業内容	サプライチェーンのデザインとビジネスモデル、ビジネス戦略の関係について。分析を行う際には数学的な手法を用います。
授業形式	オフライン	授業形式	オフライン
単位数	3.7	単位数	4
サイズ	約20人	サイズ	約70人
難易度 Course No.	DRA 111	難易度 Course No.	MGT 180
宿題の量	プレゼンテーションやグループでの発表がある週は多いです。	宿題の量	多い(必須のReadingとグループワークが主)
コメント	Global Study ProgramでUC Davisに来る学生に人気の授業です。英語を話すことに一番慣れていなかった1クォーター目にとることで、現地の環境に馴染むことへの大きな後押しとなりました。	コメント	Capsimというソフトウェアを使って、製品販売のシミュレーションをするというグループワークがユニークでした。現地の学生にとっても比較的難しい授業です。
科目名	Intercultural Communication	科目名	The Design of Coffee
授業内容	どのように文化がコミュニケーションに影響を与えるのかについて、授業やドキュメンタリーを通して考えを深めました。	授業内容	どのようにして美味しいコーヒーを最もサステナブルな方法でつくるかを学びます。期末試験にはチームごとに作ったコーヒーのコンペティションが含まれます。
授業形式	オフライン	授業形式	オンライン(授業)とオフライン(実験)
単位数	4	単位数	3
サイズ	約25人	サイズ	約30人
難易度 Course No.	CMN 123	難易度 Course No.	ECH 1Y
宿題の量	普通	宿題の量	普通
コメント	期末試験の代わりに提出物であった研究提案(Research proposal)は津田塾大学でも書いたことがなかったため、かなり時間がかかり苦戦しました。	コメント	毎週実験室でコーヒーに関する実験を行っていたことは、ユニークで興味深いものでした。

科目名	Introduction to International Agricultural Development	科目名	Social Change and Agricultural Development
授業内容	国際農業開発学に関する学説や実践の例、施設について、講義とディスカッションを通して学びます。	授業内容	コミュニティに新たなテクノロジーを導入する際のソーシャルインパクトについて学びます。
授業形式	オフライン	授業形式	オフライン
単位数	4	単位数	4
サイズ	50人	サイズ	40人
難易度 Course No.	IAD 10	難易度 Course No.	IAD 103
宿題の量	多い	宿題の量	多い
コメント	国際農業開発学をもっと学びたいと思うようになり、津田塾大学に戻ってもゼミで研究することになる分野になりました。課題の一つに、教授の知り合いにオンラインでインタビューしてレポートを作成するというものがあり、現場で長年活躍していらっしゃるプロフェッショナルのご意見を聞いたことは、貴重な経験となりました。	コメント	IAD 10と同じ教授(Amanda Crump)の授業です。主に農業セクターで導入されるテクノロジーについてだけでなく、人について(差別されている人々について、貧困問題についてなど)も深く学ぶことができました。
科目名	日本語のクラス(JPN)のチューター(単位認定あり)	科目名	Sustainable Agroecosystem Management
授業内容	春学期は日本語のチューター室でチュータリングを行いました。日本語を専攻している現地の学生と日本語で会話をします。	授業内容	持続可能な農業生態学のマネジメントについて学びます。
授業形式	オンライン(冬学期)オフライン(春学期)	授業形式	オフライン
単位数	2	単位数	4
サイズ		サイズ	50人
難易度 Course No.	JPN 197T	難易度 Course No.	PLS 150
宿題の量	少ない	宿題の量	多い
コメント	日本語を専攻している学生から、その専攻を選んだバックグラウンドや将来の夢について聞くことは興味深く、彼らの学びをサポートできていると思うと、非常にやりがいを感じました。	コメント	2週間に一度、近くの農場にクラス全員で行き、農家さんからお話を伺ったり農場見学をすることがとても楽しかったです。グループでのフィールドワークは、大学内にある学生が運営している畑で行いました。
科目名	Marketing Management	科目名	
授業内容	企業によるプロダクトマネジメントや、顧客と製品の関係、価格と需要など、マーケティングの基礎を学びます。	授業内容	
授業形式	オフライン	授業形式	
単位数	4	単位数	
サイズ	20人	サイズ	
難易度 Course No.	ARE113	難易度 Course No.	
宿題の量	少ない	宿題の量	
コメント	期末試験はグループプレゼンテーションでした。興味のある企業や製品をグループでピックアップし、それらの将来性や成長戦略について提案をしました。	コメント	

6	医療保険についてお書きください	
	渡航前に加入した保険	
	AIG損保の留学保険	
	留学先大学にあった医療保険制度	
	大学内にメディカルセンターがありましたが、制度の名前は存じ上げていません。	
6	留学中に受けた診察(もし差し支えなければ記入してください)	
	なし	
7	費用について教えてください(実際にかかった費用のみ記入してください)	
	(現地通貨)	
	渡航旅費	円
	帰国旅費	\$1412 (往復券を購入) 194,340 円
	引越し(往復で)	円
	保険	\$1453 200,000 円
	語学研修費	円
	留学先学費	\$23048 3,185,901 円
	本学学費	\$727 (在籍料) 100,000 円
	教材費	授業料に含まれていた 円
	住居費	\$6650 914,907 円
	食費	\$1498 206,100 円
その他(レジャー)	\$1000 137,539 円	
()	円	
()	円	
合計	\$35748 4,941,410 円	
換算率 (1ドル = 138 円)		
受給した奨学金(留学用、給付)があれば記入してください		
8	留学前の準備について教えてください	
	日本から持参すべきもの	
	服、化粧品類	
留学前にしておけばよかったこと		
夏服だけでなく、冬服も日本から持っていきべきでした。デイベスは冬も寒くないと思い込んでいましたが、東京と変わらず寒かったです。		

9	<p>適応しにくかったこと(学習面・生活面)があれば、記入してください</p> <p>現地では津田塾大学で学んでいなかった学問分野(農業開発学)の授業を主に受講していたので、そもそも授業についていくことが大変でした。農業開発学に関する元の知識が少ない上、母国語でない英語の授業であったためです。</p>
10	<p>留学の成果(学習面・精神面)を教えてください</p> <p>学習面では、津田塾大学にはない内容の授業を通して、新たな知識をたくさんつけることができた上、その分視野も広がりました。精神面では、ほとんどのことに動じなくなったことが挙げられます。日本での生活と全く違うことが多く、毎日精神的に不安定な状況にありましたが、だんだんその状況に慣れてきました。</p>
11	<p>今後の学習計画および進路について(就職活動)教えてください</p> <p>私は主に発展途上国の農家の貧困を農業開発学、農業生態学、経営学などの視点から解決することに興味があるので、そのことに関係する授業を取ったり、自身のゼミでの研究を通して学びを深めたいと考えております。就職活動は既に始めておりますが、まだ特定の業界や企業を絞っていません。現時点で興味があるのは、コンサル業界です。</p>
12	<p>留学を目指す後輩へのメッセージをお願いします</p> <p>私は初め、想像以上に授業の英語が聞き取れず、喋る以前にそんなこともできないのかと自分を責めてしまっていました。元々自己肯定感が高い方でしたが、始めて自己肯定感がゼロになった経験でした笑初めて授業を受けた日、一人で食堂に行き、周りのきらきらして楽しそうな現地の学生に押しつぶされてしまうような気分でした。しかし、ずっと日本で生活してきて机上での勉強を続けてきたのであれば授業の英語が聞き取れないのは当たり前のことです。教科書や単語帳には載っていないような砕けた表現もたくさんありますし、何より耳が英語にまだ適応していないことも多いと思います。まずは英語が聞き取れないこと、自信を持って話せないことは当たり前のことだ！と受け止めると少し気持ちが楽になるのではないかと思います。</p>
13	<p>その他、ご自由に意見を書き込んでください</p> <p>これは留学先大学の教授からも言われたことなのですが、勉強だけをするのではなく、団体に所属したり、友達と遊ぶこともとても大切なことです。もちろん勉強は役に立ちますが、結局人生全体という長い目で見れば、一番思い出に残るのは友達と過ごした時間や日本では経験できないような経験だと思います。</p>

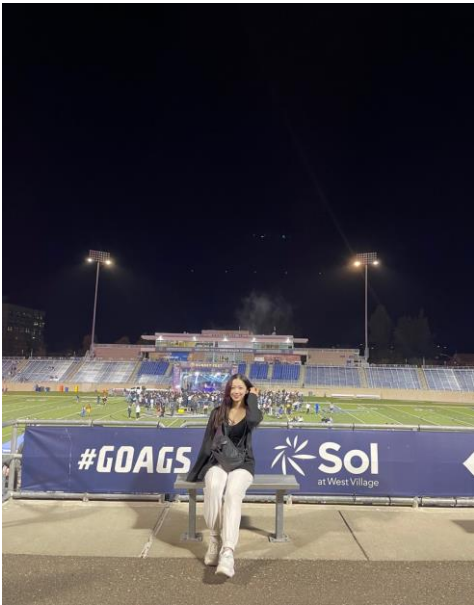
※本報告書は国際センターホームページに掲載します。下記のいずれかに✓をしてください。

国際センターホームページへの報告書の掲載を

(許可する(写真含む) 写真掲載のみ不可 許可しない)

※Web掲載を許可する場合は、報告書は手書きではなくパソコン入力してください。

ホームページに掲載する際は、個人情報(学籍番号および氏名)は非公開とします。



Aggie Stadium(大学内にあるスタジアム)でサマーフェスティバルに参加した際の写真



同じGlobal Study Programでインドネシアからきた親友が先にプログラムを終えて帰国してしまった。最後に取った写真



HackDavisという24時間内に新規ウェブサイトかアプリケーションを作るというイベントでの写真